

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(1) 乳幼児			
施策の方向性	<p>親子で読書を楽しむことで、語彙力や想像力、集中力を養うとともに親子のコミュニケーションを深めます。そのために家庭での読書や読み聞かせの大切さについて保護者へ啓発を行い、親子での読書活動の推進を図ります。また、図書館及び地域貸出文庫等で、絵本の読み聞かせや貸出を行います。</p> <p>共働き世帯が増加し、保護者と一緒に読書をするのが難しい乳幼児に対しても、保育所(園)・幼稚園等において読み聞かせを実施し、全ての子どもが本に出会う機会を提供します。</p>			
主な取組	①絵本の紹介と保護者への啓発			
	②読み聞かせの実施			
	③絵本の貸出の実施			
成果指標	家庭での読み聞かせ実施率	策定時点	目標値(R9)	
		86.7%	90.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	「Babyぱらら」「こぱらら」の発行	年間発行回数	12回	12回
	ブックスタート事業	年間実施回数	130回	132回
	図書館での対象年齢に応じたおはなし会	年間実施回数	216回	80回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①絵本の紹介と保護者への啓発		達成状況	
	<p>◆0～2歳の赤ちゃん及びその保護者を対象に本を紹介する「Babyぱらら」並びに幼児～小学生を対象に本を紹介する「こぱらら」を発行した。今後はより魅力的な紙面となるようにデザインを検討する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆絵本特集コーナーで、テーマを変えながらおすすめ絵本の紹介を行った。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆マタニティクラス、すくすく子育て教室及び親子サロンにおいて絵本の紹介を行った。(こども家庭センター、こども・若者政策課)</p>		②期待どおり	
	②読み聞かせの推進		達成状況	
	<p>◆読み聞かせを行い、赤ちゃんがいる家庭に絵本とバッグをプレゼントするブックスタートを実施し、その後のアンケートで「以前より子どもと絵本を楽しむ時間を持つようになった」と回答した人の割合が78%と高水準であった。保護者への啓発に繋がっているので、今後は参加率の向上策を検討する。(こども・若者政策課)</p> <p>◆定例のおはなし会、季節のスペシャルおはなし会を合わせて、赤ちゃん向けを109回、幼児～小学生向けを107回実施した。今後もより多くの親子に参加してもらえるように、広報や内容</p>		②期待どおり	

	<p>を検討する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆28区中22区の地域貸出文庫、子育て支援事業(絵本ライブラリー、ぞうさんひろば及び子育て応援・親子サロン事業)、子ども療育支援センター、保育所(園)及び幼稚園等において読み聞かせを実施した。(こども・若者政策課、こども家庭センター、子育て支援課)</p>	
	③絵本の貸出の実施	達成状況
	<p>◆乳幼児連れの保護者等多様な利用者が気兼ねなく図書館を利用できるように、他の利用者に温かく見守るよう呼びかける「キッズタイム事業」を令和6年度に実施するため、事業内容を検討した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆保育所(園)や幼稚園等での絵本の貸出について、令和5年度の貸出を実施した園の数は微増したが、全園の半数程度にとどまったため、園の状況にあわせて、貸出しの拡大を図っていく。(子育て支援課)</p> <p>◆子どもや保護者がアクセスしやすい施設に図書を設置した。今後は図書の更新等を行う。(こども・若者政策課、子育て支援課、教育振興課)</p>	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。	
検討が 必要な事項	◆なし	
A 改善		
改善結果		